

再エネビジネス 実態調査

(O & M ①)

O&M契約量、スマートエナジーが1.3GWで首位

太陽光発電所向けO&Mの状況を把握するため、O&M企業を調査した。
主要企業は、点検や常時監視、駆けつけ、修理対応から除草まで、概ね実施していた。

本誌は2021年9月上旬から国内の太陽光発電所向けO&M(管理・保守)事業の状況をアンケート調査し、20社から回答を得た。回答した企業の産業用太陽光発電所のO&M契約量は計5.3GWで、出力10kW以上の稼働済み太陽光発電所の合計出力の約1割に相当する。

自社保有分含む国内の稼働済み太陽光発電所へ年単位の契約を交わしたO&M契約量をランキングしたところ、第1位はスマートエナジーで契約量129万6318kWだった。第2位は東芝エネルギーシステムズで84万kW、第3

位はCO2Oで78万7000kW、第4位はリニューアブル・ジャパンで63万3076kW、第5位はユーイ自然電力オペレーションで45万1000kW、第6位はウエストO&Mで43万9116kW、第7位はオリックス・リニューアブルエナジー・マネジメントで33万1871kWである。

O&Mの基本サービスでは、目視点検と定期点検をどの電圧規模でも100%に近い割合で実施していた。除草作業は90%に近い割合で行っており、常時監視や駆けつけ、修理対応も80%以上のO&M企業が基本サービスに含めていた。

出力50kW以上の高圧・特別高圧太陽光発電所で必須となる電気主任技術者の選任を含む電気保安業務の実施割合は、高圧500kW未満が46%、高圧2MW未満と特別高圧では60%だった。雪かきや獣害対策などの周辺環境の整備にもバラつきがみられた。

高圧・特別高圧太陽光発電所向けでは、その他の業務も提供しており、ドローンによる検査や在庫管理、地域住民や電力会社との調整のほか、動産保険の提供、自営線のメンテナンス、報告書の作成などを行う企業も少なくなかった。

O&M契約量ランキングTOP7

順位	企業名	契約量 (MW)
1	スマートエナジー	1,296.3
2	東芝エネルギーシステムズ	840.0
3	CO2O	787.0
4	リニューアブル・ジャパン	633.0
5	ユーイ自然電力オペレーション	451.0
6	ウエストO&M	439.1
7	オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント	331.8

2021年3月末時点(AC)

回答企業の詳細

▶O&M事業売り上げ

10億円以上100億円未満	25.0%
1億円以上10億円未満	25.0%
1000万円以上1億円未満	20.0%
100万円以上1000万円未満	10.0%
未回答	15.0%



▶O&M事業年数

10年以上	10.0%
5年以上10年未満	65.0%
3年以上5年未満	15.0%
3年未満	0.0%
未回答	10.0%



規模別のO&Mの基本サービス項目

■ 低圧 ■ 高圧(500kW未満) ■ 高圧(2MW未満) ■ 特別高圧

